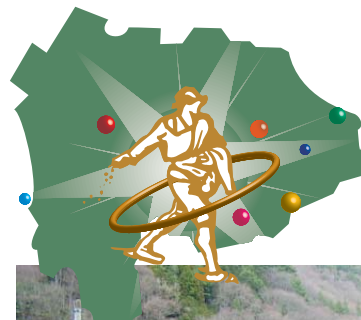


RENAISSANCE OF AGRICULTURE IN YAMANASHI

やまなし農業ルネサンス 普及センターの活動報告



地域の農業を支える女性起業



●にぎわいを見せる直売所(全景)



●にぎわいを見せる直売所(店内)

「中北地域普及センター」

甲府市の古閑町や梯町では、地元の女性グループが、農産物直売所を運営し、地域で穫れた季節の野菜や山菜、農産加工品の販売を行って来ました。

この女性グループの販売活動も10年余りが経過し、メンバーも高齢化してきたため、普及センターでは、今後の活動を継続・発展させていくために、グループを法人化していくことを勧めてきました。また、時期を同じくして、直売所と加工所のリニューアルが行われる事となったため、新しい加工品の開発もあわせて支援してきました。

平成21年4月、「上九ふれあい農産物直売所」がオープンし、16名の女性により構成された「農事組合法人上九ふれあいの里」へと生まれかわり、新商品も完成しました。

現在は、地域で穫れた季節の野菜や山菜のほか、共同ほ場のよもぎを使った「よもぎまんじゅう」や「よもぎうどん」、季節の野菜をふんだんに使った「野菜弁当」が多くのお客様から好評を得ています。



ブドウの新品種を学ぶ...指導農業士会の活動支援



●熱心に話を聞く会員



●研究員との意見交換

「峡東地域普及センター」

峡東地域普及センターでは、管内の指導農業士会(東山梨地区:会員28名)、(東八代地区:会員21名)を対象に、果樹試験場ほ場において、ブドウ新品種「シャインマスカット」、「サニードルチェ」の研修会を開催しました。

指導農業士は、農業後継者の相談相手となったり、新規就農者や農業高校、農業大学校など関係機関からの研修受入など、担い手育成に関する活動を行っています。

今回の研修は、指導農業士の方々に、ブドウ新品種の特徴を確認して頂き、今後、農業後継者や研修生等からの相談や指導に対し、役立ててもらうことを目的としています。

また、視察後には果樹試験場職員と、今年の果樹の栽培状況、試験研究の取組、果樹経営の将来方向などについて、幅広く意見交換を行いました。

今後、各地区における指導農業士の活躍を期待しています。



環境に配慮した農業の推進



●水稻の肥料資材の検討ほ場



●現地調査の様子

「峡南地域普及センター」

地球環境保全に対する国民の関心が高まるなかで、農業分野においても環境に与える負荷を軽減させる観点に立った活動が求められています。

そこで、増穂町最勝寺地区では、農地・水・環境保全向上対策の営農活動に本年度から取り組んでいます。

この地区では、水稻で環境保全型農業の取り組みを行っており、JAふじかわに導入された「温湯種子消毒機」の活用や、鶏糞などの有機質肥料による減農薬・減化学肥料栽培を行っています。また、肥料資材の展示ほを設置し、新たな有機配合肥料での栽培検討を行っており、今後の肥料設計に活用したいと考えています。

今年度は、20戸265aと小規模ですが、地域ぐるみで環境に配慮した農業に取り組んでいます。



「獣堀くん」普及に研修会を開催



●獣堀くんの設置の様子

「富士・東部地域普及センター」

都留市では、獣害対策として地域住民が自主的に猿・猪対策協議会を設置し、追い払い活動などを行っていますが、効果的な対策として、昨年度総合農業技術センターが開発した多獣種対応型電気柵「獣堀くん」への関心が高まっていました。

そこで、富士・東部地域普及センターでは、総合農業技術センターと連携して、市内の猿・猪対策協議会や管内の鳥獣害防止技術指導員等を対象に、設置技術研修会を開催しました。研修会当日は雨天にもかかわらず、多くの会員が参加し、被害軽減への熱意の高さが感じられました。

設置後の現地検討会では、「猿が近くに来るものの、被害は発生していない」との効果が確認されており、関心の高さを感ずるとともに、新たな設置希望も出ています。